

嵩山小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「未来にはばたく嵩山学」を活動テーマとして、地域と連携し、特色ある教育活動を推進することを ESD と捉え、ESD の実践を通して、ふるさとを大切に思う心と未来を生き抜く力を育成することを目標とした。
- ・具体的には、自然、食、生活環境を柱に、①地域の自然にかかわる学習、②食農にかかわる学習、③地域の生活環境にかかわる学習を行った。

・活動の実際

① 地域の自然にかかわる学習（4年生）

総合的な学習「守ろうホタルの里嵩山」を中心に、地域の自然環境を守ろうとする態度の育成をねらい、ホタルの幼虫の飼育・放流、ホタルやその餌であるカワニナがすむ嵩山川の環境調査・保全活動を行った。今年度は、約 2100 匹の幼虫を、全校で嵩山川に放流した。学習発表会では、ホタルの舞う嵩山を未来に残そうというテーマで発表し、地域の自然環境を大切にすることを高めた。



[飼育してきたホタルの幼虫の放流]

② 食農にかかわる学習（5年生、全校児童）

総合的な学習「Let's try 5年生米」では、郷土や農業に携わる人々に対する理解を深めることをねらいとして、地域の農業ボランティアの方々からの指導を受けながら、一連の伝統的な稲作作業の体験や調べ学習を行った。12月には地域の方々や保護者の協力を得て、お米を食べる会を開いた。また、全校の縦割り班（だるま班）でサツマイモを育てたり、学年でジャガイモを育てたりした。これらを通して、「食」への感謝の気持ちを高めながら、私たちの食を支える農業が担う価値について学ぶことができた。



[地域の方々の指導のもと、脱穀機を使っての脱穀作業]

③ 地域の生活環境にかかわる学習（6年生）

総合的な学習「未来につなげよう嵩山の町宝」では、生活する地域への関心を深め、地域住民の生活向上について積極的に関わっていこうとする心を育てることをねらいとしている。今年度は、社会科の政治の学習活用できる公園の設置について考える学習を行った。家族や地域のお年寄りにアンケートをとったり、校区自治会長に自分たちが考えた公園をプレゼンテーションしたことで、自分たちが住む嵩山の生活環境について理解を深めることができた。



[校区自治会長への提案]